

教員名

羽藤雅彦

企画名

瀬戸内カレッジ

商品開発型

地域活性化型

企業/自治体/国



企画・活動概要

JR西日本・自治体・大学が連携し、若者視点を活用した地域活性化、旅行需要の喚起、学生の成長機会の創出を目指す産官学のプロジェクト。一連の取組みを通して、参加学生と地元協力者の間で交流が生まれ、地域と連携強化の促進、大学生による若者目線での旅行プランや地元の課題解決に向けたアイデアの提案、および自主的な地元PRを展開する。今回の活動期間は6月から3月までである。



経緯・背景・目的

今年度は松山市・広島市・呉市・廿日市市の4市に協力してもらい、いかに愛媛と広島の間周遊旅行を促すかを検討した。

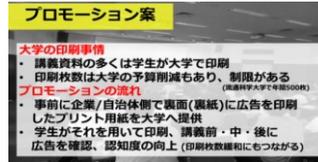
取り組む課題

愛媛と広島を周遊するという発想がない大学生に対し、いかに周遊旅行を促すかを検討した。



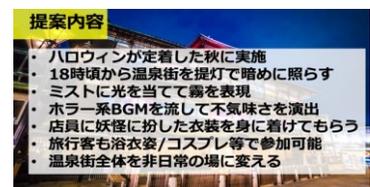
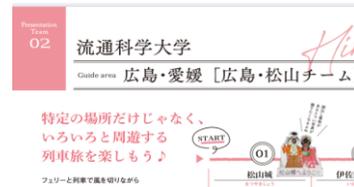
本学(学生)の役割

学生には市場調査、そして問題設定、問題を解決する提案が求められている。ゼミ生は周遊するという発想がない点に着目し周遊旅行の認知度を高めるためのプロモーション案や地域の魅力向上案を提案。



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

学生が成長・身につけた能力: 地域の問題を発見するための分析力・プレゼン能力・提案に至るまでの発想力、チームを纏めひたぶるリーダーシップ
学生成果物としては、プレゼン資料やJR西日本の「マイフェバ」で公開されている電子パンフレット、JR西日本によるインバウンド向けの動画への協力 (tiktokで公開) 等がある。



指導教員および関係者の紹介

指導教員: 羽藤雅彦
参加学生: 羽藤ゼミ
協力企業: JR西日本、JR四国
協力自治体: 松山市、広島市、呉市、廿日市市
(瀬戸内松山ツーリズム推進会議)

